

巻 頭 言

教育学部長 小 田 浩 伸

大阪大谷大学教育学部は、平成 12 年に大谷女子大学文学部幼児教育学科が教育福祉学科に改称されたことから始まり、平成 16 年には教育福祉学部が文学部から独立し、平成 18 年には男女共学制への移行に伴って大阪大谷大学教育福祉学部となり、平成 24 年からは教育福祉学部を教育学部に改組して、幼児教育専攻、学校教育専攻・特別支援教育専攻という三つの専攻が設置されました。こうした歴史は、新しい教育の方向性を先取る形で展開されてきました。

近年、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、人工知能（AI）の飛躍的な進化が進み、教育においても 1 人 1 台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備された教育環境の実現をめざした GIGA スクール構想が展開されています。

こうした流れの中で、令和元年に文部科学省教育再生実行会議において、Society 5.0 で求められる力と教育の在り方が示され、その中で、各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育を推進するために STEAM 教育（Science：科学、Technology：技術、Engineering：工学、Art：芸術、Mathematics：数学）の推進が提唱されました。本学部学校教育専攻では、こうした方針を先取って、令和 2 年 4 月から「STEAM Lab」が開設され、科学・技術分野を中心とした STEAM 教育を進めてきました。

このたび、開設 1 年目の STEAM Lab の取り組みや研究の成果を公表する紀要を創刊する運びとなりました。大学教育をはじめ学校教育に関わっておられる多くの方々にご高覧いただき、教員養成や実践研究に一層寄与できる紀要として継続刊行されていくことを願っています。

最後に、本実践・研究にご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。